



11/17

防災講座(第5回)

平成30年度 連続講座最終回

平成31年3月1日現在

人	口	14,137人
男	性	6,831人
女	性	7,306人
世帯数		6,554戸



「自分で守る「防災」」
「そのとき」を想像することが大切

地震や台風による甚大な被害が多発し、時と場所を選ばない突発的な自然災害の脅威を再認識させられます。

「防災と科学」について学ぶ第5回講座では、兵庫県防災センター 防災教育専門員 田中健一氏をお招きし、「死なないための努力」を先にすることの重要性や大災害時に刻々と変わる状況の中で避難所をどのように運営すべきかを学びました。

※主催・共催
長野県生涯学習推進センター、長野県公民館運営協議会、本郷地区町会連合会、本郷地区防災部、本郷公民館

【講義概要】

講義では、阪神・淡路大震災の体験談をもとに、日頃から備えておくべきことや人と人とのつながりの大切さについて学びました。

○防災教育の必要性

一人ひとりの災害イメージ・シヨン能力の向上を図ることが地域防災力強化に繋がります。

○地域防災力とは

災害時に最も有力で、素早い対応ができるのは、「近所に住んでいる人々の助け合い」である。

○自分の身をどう守るか

土地の被災の歴史を知り、過去の災害の経験を生かし、危険な時は自主的に避難する。

○自分だけは大丈夫と思う正常化バイアス、被災者マインドの怖さを知ることが大切

【避難所運営ゲーム(HUG)】
演習 「水害を想定した避難所運営ゲーム」避難場所として学校を想定し、災害時の

対応について模擬体験をしました。
次に想定するケースの一部を紹介します。皆さんはどのように対処されますか。
○避難所の開設にあたり
・責任者・リーダーを誰にしますか。
・受付をどこに設置しますか。
・避難者名簿は誰がどのように作成しますか。
・校庭には、多くの避難者がやってきています。どこへ誘導しますか。
・車輛も入ってきています。駐車場や駐輪場の確保はどうしますか。
・ペットの扱いはどのようにしますか。
・使わない方が良い教室はどこでしょう。

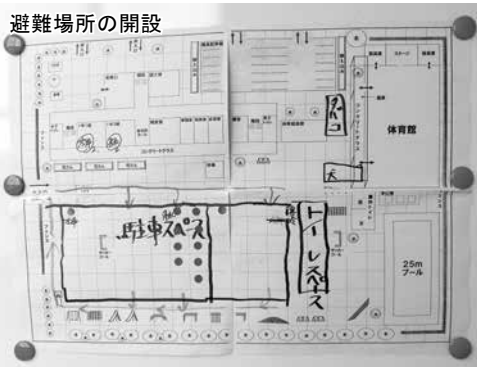
○届いた備品をどこに置きますか。
・パソコンの電源がありますか。
・ホワイトボードの活用方法は、大勢の人が見られるように、テレビをどこに置きますか。
○避難者の適正配置に必要なスペースが確保出来ますか。
・トイレはどこに配置しますか
・男・女の着替えの場所はどこにしますか。
・車椅子の人の居住スペースがありますか。
・人工透析の人はどこに。
・喫煙場所は確保できますか。



昭和34年8月 稲倉

【第4回・第5回 受講者アンケートから】

・今後もこの様な講習を何回も繰り返しやって欲しい。
・大変な事だと思っただけですが、本当の災害の時にしつかり出来るのか心配です。
・日常の中での防災意識が重要だとわかった。
・講演は災害現場の生きた話題が中心であり、臨場感に満ちた演習もとても有意義であった。防災への関心の低さが今後の課題である。
・災害は他人事と思っっている住民がかなり多い。
・町会の避難所を確認しなければと思った。
・防災に対して新たに考えさせられました。
・現状に対しての心構えができてイメージトレーニングになった。
・今後の防災活動に地域の避難ルート(危険箇所を避け



る道順を考える)の確認や雨の降り方など前兆現象を捉えるための啓蒙が必要と感じた。
・災害は必ず起こるといふことを住民に知ってもらいたい。意識づけなどの課題、防災マップ(危険箇所、災害発生が予想される場所)や助け合いマップの作成等を町会内でも考える必要があるのでは。
・災害と隣り合わせであることを常に意識し、自分が住んでいるところの安全性を確認(避難ルート、避難場所の確認)しておく大切さを学びました。
・自分では分かっているつもりでいたが、実際の被害をビデオで見たり経験談を伺うことで、災害が実感でき、とてもためになった。

温泉第8町会

浅間温泉第8町会 は、平成27年度に公民館が新しくなり、また一昨年12月には大雪の対応として、松本市の交付金を利用して除雪機の購入に至りました。

個人での雪かきには限度があり大雪の年は雪を掻いても掻いても道が出来る気配がありませんでしたが、除雪機のおかげで楽になりました。操

わがまち わが町会



横田第1町会

わが町会では、住民のふれあい交流会「横田さくらの

会」を公民館で行っています。平成28年度に当時の町会長、衛生部長、公民館長で活動を始め、今では新旧民生委員さんも参加しています。

活動は気軽に集まってお茶を飲みながら話をしたり、簡単な物づくりをして楽しい時間を過ごして交流が進むようにしています。

今まで6回開催し、コースター、紙コマ、おい袋、手帳カバーなどを手づくりするなど楽しい企画も取り入れています。

作やメンテナンスは役員の方が行っており、積雪の日は朝早くから通勤・通学の道を作っていたいただいています。



毎回20名近くの参加者があり、中には90歳を越える方もおられます。「みんなが集まれる場所が出来て良かったね」「次回も楽しみだね」とたいへん好評です。

年4回の開催を目標に、町会内の絆が深まるよう今後も継続していきたいと思っております。



2/11 浅間温泉第1町会 横手の春祭り

地域の皆さんの協力のもとに、横手の春祭りが開催されました。健康相談、作品展示会、バザー、食事、子供達の歌、ビンゴ抽選会、そして今回は「ふくろう文学座」浜重俊さんの、歌う紙芝居。紙芝居で昭和の歴史や、当時のエピソードを振り返りつつ、昭和の懐かしい歌謡曲を歌い、楽しんでいました。皆さん毎年の行事として楽しみの一つとなっております。



2/16 浅間温泉第5町会 オルゴールコンサート

オルゴールを借りて、浅間温泉第5町会主催でオルゴールコンサートを開催しました。オルゴールは全て長野県産で、アップライト式ディスクオルゴールから奏でる音色は素晴らしくアニメソングからクラシックまで20曲余りを赤ちゃんから高齢者皆で耳を傾けました。また、オルゴールの歴史や珍しいオルゴールに触れたり、「信濃の国」をオルゴールの伴奏で歌い、土曜の昼下がり優雅なひと時を過ごして幸せな気持ちになりました。



惣社公民館が新しくなりました

惣社公民館本館改築工事が完了し、2月11日に落成式が盛大に執り行われました。事前に町民の皆様にご覧会も実施されました。

建物は、玄関前のスロープをはじめ全館段差がなく、老若男女どなたにとっても使いやすいとなりました。耐震強度は基準以上となり、災害時も安全で快適な拠点となっております。

これからは、町民の皆様の活躍と笑い声の絶えない場として大いに活用していきます。

